

令和2年度

# 事業報告書

社会福祉法人相模原市社会福祉事業団

## 目 次

1 法人本部	
(1) -① 法人本部運営	1
(1) -② 地域における公益的な取組	4
(2) 障害者支援センター管理事業	5
2 障害者支援センター相談支援事業所	6
3 障害者支援センター多機能型事業所	
(1) 生活介護事業	7
(2) 自立訓練（生活訓練）事業	9
(3) 就労移行支援事業	11
(4) 就労継続支援B型事業	13
(5) 就労定着支援事業	15
4 銀河	
(1) 生活介護事業	16
(2) ガイドヘルプサービス事業所	18
5 障害者支援センター	
(1) 障害者地域就労援助センター事業	20
(2) 障害者就業・生活支援センター事業	25
(3) 地域障害者施設支援事業	27
(4) 手話通訳者等養成事業	30
(5) 基幹相談支援センター等事業	31
6 障害者一時ケア事業	35
7 発達障害支援センター就労支援事業	37
8 障害者相談支援キーテーション事業	39
9 けやき体育館	
(1) けやき体育館管理・運営事業	42
(2) 障害者余暇活動支援事業	44
○福祉研修センター研修一覧表	巻末

# 1 法人本部

## (1) - ①法人本部運営

### 1 事業概要

法人運営に係る評議員会、理事会を開催し、事業計画、予算、決算等を策定するとともに、職員の採用、育成、人事、労務管理を行った。

### 2 事業内容

#### (1)理事会の開催

開催日	出席・同意数/定数	主な議題
6月8日 (決議の省略)	理事 6/6 監事 2/2	・令和元年度事業報告、収支決算、監事監査報告 ・評議員選任・解任委員会運営規程の一部の改正 ・評議員及び理事候補者の選任
3月17日 (決議の省略)	理事 7/7 監事 2/2	・資金収支予算の補正 ・評議員選任・解任委員会運営規程の一部の改正 ・組織規程の一部の改正 ・事務専決規程の一部の改正 ・職員、準職員、契約職員及び再雇用職員就業規則、評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程、職員給与、退職手当規程の一部の改正 ・令和3年度事業計画、収支予算 ・臨時評議員会の開催 ・理事候補者の選任 ・苦情解決制度における第三者委員の選任 ・職員の人事 ・定款第19条第4項に規定する報告

#### (2)評議員会の開催

開催日	出席・同意数/定数	主な議題
定時評議員会 6月24日 (決議の省略)	評議員 8/8	・令和元年度収支決算 ・理事の選任
臨時評議員会 3月25日 (決議の省略)	評議員 8/8	・理事の選任 ・評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部の改正について

#### (3)評議員選任・解任委員会の開催

開催日	出席・同意数/定数	議題
6月10日 (決議の省略)	委員3/3	・評議員の選任(1名)

#### (4)監査の実施

##### ア 監事監査

実施日	5月28日
実施方法	書面により実施
実施者	法人監事2名(小野明雄氏、横木康隆氏)
対象	令和元年度法人運営(事業)及び財務(収支決算)
監査結果	6月8日理事会に報告のとおり

イ 定期指導監査

実施日	8月6日
実施者	相模原市福祉基盤課
対象	前回指導監査日の翌日から当日までの法人運営
監査結果	社会福祉法人指導監査ガイドラインを満たしていない事項なし

(5)運営協議会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(6)人材の確保

福祉関連領域を学んだ新規学卒者を主な対象に2回実施したが、採用予定数に満たなかったため、対象年齢を広げ、福祉業界経験者を対象とした第3回を実施した。

区分	募集期間	募集人数	応募人数	採用人数
正規職員・福祉職員(1回目)	4月27日～6月19日	若干名	4	1
正規職員・福祉職員(2回目)	9月14日～10月23日	若干名	3	0
正規職員・福祉職員(3回目)	12月16日～1月25日	若干名	24	1
契約職員・生活支援員	10月、2月	若干名	15	5

(7)人材の育成

ア 職員研修の実施

研修区分		内容	参加人数
職場 研修 OJT	階層研修	・新規採用職員研修(法人内)	8
	法人本部 テーマ別 研修	・感染症対策セミナー(オンライン)	68
		・障害者虐待防止セミナー(オンライン)	68
		・交通事故防止研修(オンライン)	68
職場 外 研修 OFF -JT	本部 専門 研修	・社会福祉士実習指導者講習会	1
		・サービス管理責任者研修(更新)	1
		・相談支援従事者研修(初任者・プレ)	2
		・主任相談支援専門員養成研修	1
		・相談支援専門員専門コース別研修	2
		・相談支援専門員専門コース別研修	2
	職場外	・神奈川県強度行動障害支援者養成研修(基礎)	1
		・職場紹介責任者講習	1
		・障害福祉基礎研修(事業団開催)	45
		・新任福祉・介護施設等職員合同交流・研修会	1
職場 外 研修 OFF -JT	所属 専門 研修 職場外	・交通事故防止「新入社員が知らないこと、できないこと」	1
		・安全運転研修	3
		・普通救命講習I	1
		・実践！会議の進め方	2
		・「障がい者就労支援力」について考える	1
		・市福祉部職場研修「障害者差別解消研修」	1
		・障がい者雇用における企業と支援機関の連携	1
		・労働法教育に関する支援対策事業労働法の教え方セミナー	1
		・全国相談支援ネットワーク研修会	1
		・自閉症 e サービス@かながわ ステップアップ研修	2
		・アルコール依存症地域生活支援指導者養成研修	1
		・ガウン等着脱研修	1
・神奈川県ポッチャ審判員養成講習会	1		
・神奈川県初級障がい者スポーツ指導者養成講習会	1		

イ 資格取得(登録)の状況

公認心理師 2、社会福祉士 1、精神保健福祉士 2、介護福祉士 1、
------------------------------------

(8)リスクマネジメントとコンプライアンス

ア 統合危機管理・コンプライアンス委員会

災害対策部会	感染症対策を踏まえた松が丘園・銀河の合同防災訓練の実施
感染症対策部会	新型コロナウイルス感染症対策 (職員研修、物品確保、マニュアル作成)
虐待防止対策部会	部会作成の虐待防止啓発動画による研修実施、 セルフチェックリストと意見交換、意識啓発チラシ
交通事故防止対策部会	交通事故防止対策研修の実施、事故状況の共有と意識啓発
コンプライアンス部会	「コンプライアンス推進に向けた行動指針」の制定及び職員への周知

イ 苦情解決体制

第三者委員会議の書面審議(3/1)による苦情等の状況報告と対応への助言

年	苦情	苦情の分類				ご意見・ご要望
		人的サービス	施設の管理運営	施設設備	その他	
R2	0	0	0	0	0	1
R元	0	0	0	0	0	1

ご意見・ご要望の内容

「就労援助センター」の支援担当者の交代及び関わりの一時停止の申し出

ウ 事故及びヒヤリ・ハット報告の状況

年度	事故報告	交通事故・違反	事務処理ミス	ヒヤリ・ハット報告
R2	4	4	0	8
R元	7	6	0	13

エ 個人情報保護・開示

開示申出件数:0件

(9)広報活動及び情報公開

- ア ホームページによる情報提供:年間 121回
- イ 機関紙「こもれび」の発行:年間1回・1,500部・地域の方、関係機関等へ配布
- ウ 松が丘園祭:新型コロナウイルス感染症拡大防止措置により中止

(10)職員の労務管理及び福利厚生

- ア 衛生委員会の開催:毎月1回開催(4月は中止)
- イ ストレスチェックの実施:令和2年10月・対象者70人
- ウ 臨床心理士による職員なんでも相談の実施:相談件数18件(事業団16件 文化財団2件)
- エ インフルエンザ予防接種費用の一部補助:利用者19人

(11)利用者満足度調査(アンケート)の結果

実施期間:11月2日~30日

事業名	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・まあ満足の割合
多機能型事業所	56	56	100%	91.1%
けやき体育館	198	168	85%	99.3%
銀河・生活介護事業所	41	36	88%	100%
障害者一時ケア事業	287	203	71%	90.2%

# 1 法人本部

## (1)－② 地域における公益的な取組

### 1 事業概要

社会福祉法人の責務である「地域における公益的な取組」を、組織横断的な体制で実施した。対面での交流イベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、新たに設置したプロジェクトチームで企画を立て直し、オンラインでのイベントを実施した。

### 2 事業内容

#### ア 知的障害者フリースペース活動事業「まつカフェ」・イベントプログラムの実施状況

年度	日時・内容	活動場所	参加者数
R2	2月14日(日)13:30～15:30 まつカフェ Online (カラオケ)	オンラインによる実施	4
R元	全10回開催	障害者支援センター松が丘園 喫茶麦の穂ほか	40

#### イ プロジェクトチームの設置

地域における公益的な取組を、地域課題への実践的なアプローチ方法として位置付けるために、日々利用者と接する就労相談・生活相談・余暇活動支援・通所支援部門の担当者によるプロジェクトチームを設置した。

年度	開催回数	内容
R2	4	・新生活様式に対応した、知的障害者余暇支援についての企画会議 ・オンラインイベント実施に向けたニーズ調査・企画案作成 ・オンラインイベント実施準備(環境調整)

# 1 法人本部

## (2)障害者支援センター管理事業

### 1 事業概要

障害者支援センター松が丘園全体に係る統括及び施設の維持管理を適宜実施し、利用者に安全・安心であり、職員が働きやすい施設環境の整備を進めた。

### 2 事業内容

#### (1)松が丘園全体に係る統括

項目	内容	実施日等
事務の効率化	経理事務の総務課への移管	順次実施
安全運転研修	自動車教習所での実車体験と座学	送迎担当随時実施
衛生委員会	新型コロナウイルス感染症、メンタルヘルス	毎月1回(4月中止)
防災訓練(第1回) 防災訓練(第2回)	火災想定 of 書面によるシミュレーション訓練、 消火訓練 火災想定、消火訓練、担架搬送訓練、自家発電装置起動訓練	7/29-8/28 各課実施 11/18・136人参加

#### (2)施設の維持管理

修繕・機器項目	内容	施行業者
消防用設備修繕	自家発電設備充電器交換修繕 ガス漏れ検知器交換修繕	河本総合防災
建物・館内修繕	館内照明LED交換(1F共用部、地下)	玉川電器
建物・館内修繕	受水槽ボールタップ取替修繕 厨房水栓水漏れ修繕	野崎工業所
災害備蓄品購入	福祉避難所用	相模設備工業

業務委託項目	内容	委託業者
清掃等	毎日の日常清掃及び年2回定期清掃	清美
警備	出入管理、巡回等警備 16:50~22:30	蒼鳳
機械警備	夜間機械警備 22:30~翌日 8:30	相模警備保障
一般廃棄物等回収、処理	一般・産業廃棄物の運搬、回収、処理	ダストソリューション
消防用設備保守点検	消火器具、屋内消火栓設備等の保守点検	河本総合防災
自家用電気工作物保守点検	受電設備、配電設備等の保守点検	関東電気保安協会
冷温水発生機保守点検	冷温水発生機保守点検・冷暖切替	テクノ矢崎
エレベーター等保守点検	エレベーター保守点検、24時間遠隔監視	日立ビルシステム
樹木剪定	敷地内樹木剪定	植義
害虫駆除	館内・厨房害虫駆除	大清産業

#### (3)災害対策

福祉避難所での感染症対策を意識し、より安全に過ごせるよう備蓄品の精査を行い、必要物品の追加購入を行った。また、他市町村での対策方法等の情報収集を行った。

#### (4)新型コロナウイルス感染症への対応

感染予防としてアルコール消毒液、サージカルマスク、ビニール手袋等の購入をはじめ、ソーシャルディスタンス確保のため、諸室のレイアウト変更等を実施した。

## 2 障害者支援センター相談支援事業所

### 1 事業概要

障害福祉サービス利用申請に当たって必要となるサービス等利用計画の作成及び施設や精神科病院等からの退所・退院を希望する障害者の地域移行・地域定着支援を行った。

(指定特定相談支援事業所、指定一般相談支援事業、障害児相談支援事業)

### 2 事業内容

サービス等利用計画及び障害児支援利用計画作成の状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、厚生労働省からの通知を参考にモニタリング等は電話を中心に行い、必要な場合に訪問を実施した。同様に、サービス担当者会議についても電話・FAXの他、新たにオンラインを活用して支援を行った。

単位:人(3月末時点)

年度	契約者数	内 訳		
		サービス等利用計画 の作成 (特定相談支援)	地域移行支援 (一般相談支援) (※)	障害児支援利用計画 の作成 (障害児相談支援)
R2	284	266	1	18
R元	280	263	1	16

(※)年間対応実人数

### 3 障害者支援センター多機能型事業所

#### (1)生活介護事業

##### 1 事業概要

医療的ケアが必要な方を含む、重度の障害のある方の活動の場として、一人ひとりが豊かな生活が送れるよう、外出・創作活動等の日中活動、安楽な環境を支援するリラクゼーション(休息)や一人ひとりの状態に合わせた健康管理、医療的ケア、食事の提供を実施した。

##### 2 事業内容

##### (1)利用者登録者数(3月末日現在)

単位:人

年度	人数	性別		うち 要医療的ケア
		男	女	
R2	17	8	9	10
R元	18	8	10	10

\*全員が重症心身障害者認定及び障害支援区分6

##### (2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R2	238	10	1,611	67.7%
R元	238	10	1,692	71.0%

##### (3)入退所の状況

	人数	入所前の所属/退所先
入所	0	
退所	1	相模原療育園入所 1名

##### (4)提供したサービス内容

###### ア 日中プログラム

新しい生活様式のもと安全を踏まえ、近隣への散策を行った。本人の意思を尊重した創作活動や園芸活動等を行った。

社会体験は、コロナ禍の状況を踏まえ、外出をせず、代替えとしてクリスマス会を企画と準備から利用者と共にを行った。

その他の活動内容は、以下の通りである。

###### ① 季節的活動

鯉のぼり飾りつけ、菖蒲湯で足湯、新茶の香りを楽しむ、七夕を楽しむ、涼を感じる制作、夏祭り、盆踊り、怪談話を楽しむ、読書の秋を楽しもう、名月を楽しもう、ハロウィン、スポーツの秋満喫、クリスマス会、年賀状作成、書初め、正月遊び、節分豆まき、ひな祭り等

###### ② 外出

春探し散策

###### ③ 園芸活動

ケアルームの敷地を利用した花々の植栽

###### ④ その他

ゲームを楽しむ、楽しく体を動かそう、虫歯予防しよう、レクリエーション大会、映画鑑賞会、アロマで心地よさ探し、できるかな??実験しよう、カレンダー制作、リモート体験(初詣、世界旅行)、ババ抜き選手権

## イ 医療的ケア

栄養剤や水分、ミキサー食の注入や喀痰吸引等の医療的ケアを実施した。

(医療的ケアの実施状況)

単位:回

年度	注 入	吸 引	吸 入	酸素吸入	その他	合 計
R2	614	383	123	23	157 (人工呼吸器管理 36)	1,300
R 元	710	464	183	32	103 (人工呼吸器管理 44)	1,492

## ウ 安楽な環境の支援

利用者に合わせた姿勢(ポジショニング)の調整やリラクゼーション等を実施した。また、安心して過ごせる環境整備として、電動ベッド、折り畳み簡易ベッドを購入し、ソーシャルディスタンスを保ちながら、安楽に休息等がとれる環境を整えた。

## エ 送迎

利用者の状況に応じて、リフト車等を利用して送迎を行った。新しい生活様式を取り入れ、車内の換気を徹底し、また、利用者の乗車定員を抑えることで、車内の密を避け送迎を行った。

(送迎回数)

単位:回

年度	リフト車	ワゴン車等	合 計
R2	1,125	358	1,483
R 元	1,124	317	1,441

## (5)医療的ケア委員会

医療的ケアを安全かつ適正に実施するために、常務理事を委員長とし、管理職、担当職員、看護師、嘱託医を委員とする医療的ケア委員会を開催し、医療的ケアを必要とする新規利用者の利用の可否及び追加項目の審議を行った。また、安全確保の為、医療的ケア総括医である武井医師とより密な情報交換を行った。緊急事態宣言等により、年間9回の実施となった。

## (6)職員の資質向上

相模原市内において重症心身障害児者の支援に携わる職員に必要な知識・技術の習得及び専門性の向上の為、例年実施している研修については、感染症対策により中止とした。

## (7)関係機関との連携

### ア 重症心身障害児者ネットワーク会議

市内重症心身障害児者の支援者間のネットワーク構築を目的として実施した。

第1回(5月開催)は、新型コロナウイルスの影響により中止とした。第2~4回についてはメールを用いての書面開催とした。

(内容)

第2回 新型コロナウイルス感染症による各事業の状況

第3回 第2回の内容から「困りごと、他事業所への質問」について

第4回 次年度重心ネットワーク事業計画について

### イ 神奈川県重症心身障害児者協議会

新型コロナウイルス感染症対策により、幹事会のみオンライン等による開催、メールでの情報交換がされたが、通所部会、看護部会については開催中止となった。実践報告会については次年度に延期となった。

### 3 障害者支援センター多機能型事業所

#### (2)自立訓練(生活訓練)事業

##### 1 事業概要

将来的に就労を目指す若年障害者等を対象に、基礎的な生活力を身につけられるような支援を行った。また、コロナ禍により実施できない講座は、安全に考慮しながら、手法を変えて実施した。

##### 2 事業内容

###### (1)利用者数(3月末日現在)

単位:人

年度	男	女	合計
R2	5	4	9
R元	11	5	16

###### (2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R2	238	18	1,999	46.7%
R元	238	18	3,520	82.2%

###### (3)提供したサービスの内容

###### ア 作業能力向上プログラム(企業受注作業)

年度	工賃合計	支給人数	平均工賃(月額/人)
R2	187,650円	110	1,706円
R元	417,220円	192	2,173円

###### イ 就労準備基礎プログラム

テーマ	場所・内容	実施日・回数等
インターンシップ(職業体験)	けやき体育館(そうじ)	延べ7人・21日
ビジネスマナー講座	就労の心構え、ルールとマナー、DVDで学ぶ「就労とは」、ビジネスマナー講座等	7月～1月 計5回
履歴書の書き方	氏名・住所・学歴・職歴等	1月28日

###### ウ 自立促進プログラム

事業名	実施回数
制度の利用援助	1回
コミュニケーショントレーニング(SST*を含む)	随時個別
金銭管理	随時
創作講座	30回
家事講座	4回
人とうまくつきあう	1回

\*SSTは Social Skills Training の略。対人関係技能の向上を目指す認知行動療法の1つ

###### エ 資格取得促進プログラム

事業名	実施期間	修了者数(人)
ビルメンテナンス講座	7月～9月	9
介護職員初任者研修	11月～1月	4
サービスケアサポーター研修	11月～1月	9

オ 体力増進プログラム

事業名	実施回数
よさこい	20回
ジムトレーニング(講座形式)	1回

カ ライフサポート講座

事業名	実施日
ライフサポート講座(10回) 延べ89人	食育講座(4/23)、衛生管理(5/21)、 食事マナーについて(6/25)、バーチャルレストラン(7/30)、 カロリーについて(10/22・11/16)、コンビニ弁当について(12/4)、 季節の料理を知る(2/25)、スマホ講座(3/11)、 交通安全講座(3/22)

キ その他

事業名	実施日
社会人研修:検定試験	3月1日
余暇体験:余暇支援講座	3月25日

(4)日常生活の支援(就労移行支援事業・就労継続支援B型事業と共通)

ア 食事の提供

栄養士作成の献立によるバランスのとれた給食の提供を行った。  
(厨房業務委託業者:ハーベスト(株))

イ 健康管理

・総合健康診断 10月2日  
・定期健康相談 内科:2回/年 精神科:4回/年

ウ 苦情解決・権利擁護

福祉オンブズマンネットワーク来所相談 5回(7月、9月、10月、11月12月)

エ その他

次年度多機能型事業所の利用契約説明会 2月22日、3月19日

### 3 障害者支援センター多機能型事業所

#### (3)就労移行支援事業

##### 1 事業概要

一般就労を希望する障害者を対象に、就労にむけた各種プログラムを、コロナ対策を徹底しながら行った。加えて、個々の利用者の目標進路に応じた就労支援を行った。

##### 2 事業内容

###### (1)作業班別利用者数(3月末日現在)

単位:人

年度		男	女	計	合計
R2	食品喫茶班	8	3	11	16
	企業受注班	3	2	5	
R元	食品喫茶班	3	3	6	7
	企業受注班	1	0	1	

###### (2)各月の利用者数の推移(当該月の最大値)

単位:人

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均
R2	16	16	17	17	16	15	15	15	15	16	16	16	15.8
R元	17	18	16	15	13	12	12	11	9	9	8	8	12.3

###### (3)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R2	238	18	3,291	76.8%
R元	238	18	2,538	59.2%

###### (4)就労状況

年度	人数	内訳	就労先
R2	1	女1	(福)幸会特別養護老人ホーム大野台幸園
R元	9	男7 女2	トッパン・フォームズ(株)、相模原市教育センター、(株)ウエルストーンエクスプレス、佐川急便(株)、(福)上溝緑寿会コスモスセンター特別養護老人ホームコスモスホーム、(株)カワタキコーポレーション、わらべや日洋(株)、(株)富士薬品

###### (5)提供したサービスの内容

###### ア 作業能力向上プログラム(食品喫茶作業、企業受注(箱折り等)作業)

年度	工賃合計	支給人数	平均工賃(月額/人)
R2	2,567,050円	185	13,876円
R元	2,847,380円	146	19,503円

※工賃合計が減少したのは、松が丘園空調工事や新型コロナウイルス感染防止策の緊急事態宣言により、麦の穂店内飲食を中止した期間があったことによるもの。

## イ 就労準備プログラム

テーマ	場所・内容	実施日・回数等
職場見学	(株)ニコンつばさ工房横浜事業所・相模原事業所、三菱重工業(株)相模原製作所、日産自動車(株)、(福)久寿会中の郷、(株)JPR、日本郵便(株)八王子南郵便局、(福)幸会特別養護老人ホーム大野台幸園、けやきカフェ、あじさいメイツ事務局	延べ18回
インターンシップ	けやきカフェ あじさいメイツ事務局	延べ3人・14日 延べ3人・12日
ビジネスマナー講座	身だしなみ講座 清掃入門	随時実施 1回
履歴書の書き方		随時実施
就労準備講座	就労移行支援事業で行うこと 仕事を考える 目標管理シート 働く準備について	3回 2回 5回 2回

## ウ 一般就労移行支援プログラム

テーマ	場所・内容	実施日・回数等
面接対策講座		随時実施
企業実習	日本郵便(株)八王子南郵便局 (福)幸会特別養護老人ホーム大野台幸園 三菱重工業(株)相模原製作所 (株)ニコンつばさ工房横浜事業所・相模原事業所	1人・8日 1人・10日 4人・12日 1人・13日
求職活動支援		随時実施
職場定着支援	会社訪問、来所面談	延べ16人
就職ガイダンス		4回
職業評価		10人
TTAP	※TTAP: 自閉症スペクトラム移行アセスメントプロフィール	2人

## エ 自立促進プログラム

- ① 生活力アップ講座 1回
- ② こころのセルフマネジメント講座 全体3回、個別随時
- ③ コミュニケーショントレーニング 随時
- ④ 交通安全講座 1回
- ⑤ 相談窓口について 1回
- ⑥ ビジネストレーニング(e-ラーニング) 随時

## オ その他

事業名	実施日
社会人研修	3月1日
送別セレモニー	個別で実施
余暇活動支援	6月17日、6月18日、3月30日
就労アセスメント	2回

## (6) 日常生活の支援

3-(2) 自立訓練事業の「(4) 日常生活の支援」に記載の内容に同じ(p.10)

### 3 障害者支援センター多機能型事業所

#### (4)就労継続支援B型事業

##### 1 事業概要

障害種別を問わず、地域の潜在的な通所ニーズに対応した。生産活動を通して就労意欲や生産能力の向上を図り、利用者個々の要望に合わせた支援を行った。尚、生産活動はコロナ禍の影響により看板作業の受注が減ったため、自主製品として感染予防板及びフェイスシールドを企画、販売した。

##### 2 事業内容

###### (1)利用者数(3月末日現在)

単位:人

年度	男	女	合計
R2	10	5	15
R元	10	3	13

###### (2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R2	238	14	2,453	73.6%
R元	238	14	2,056	61.7%

###### (3)提供したサービスの内容

###### ア 作業能力向上プログラム

###### ① 企業受注作業

年度	工賃合計	支給人数	平均工賃(月額/人)
R2	1,502,650円	167	8,998円
R元	1,472,300円	153	9,623円

###### ② 自主製品の充実・販路拡大

- ・自主製品の種類の増加(感染予防板、フェイスシールド)
- ・点字印刷 18件

###### ③ 個別の適性に配慮した作業展開 随時実施

###### イ 就労準備プログラム

- ① ビジネスマナー講座 1回
- ② 企業見学 2回
- ③ 履歴書の書き方 2回
- ④ 就労準備講座 3回

###### ウ 一般就労移行支援プログラム

- ① 面接対策講座 1回
- ② 企業実習 5日(1人)
- ③ 求職活動支援 随時実施

###### エ 自立促進プログラム

- ① 将来について考える講座 2回
- ② 見学援助及び情報提供 1回
- ③ ビジネストレーニング 1回
- ④ スマホ講座 1回
- ⑤ 身だしなみ講座(応用編) 1回

オ その他

内 容	実施日
社会人研修:検定試験	3月1日
送別会	個別で実施
余暇活動支援	6月18日
利用者懇談会	6月19日、7月31日、8月28日、9月25日、 10月23日、11月25日、12月25日、 1月27日、2月24日、3月26日
社会体験(淵野辺公園散策)	12月7日
通所練習同行	1人・9回

(4)日常生活の支援

3-(2)自立訓練事業の「(4)日常生活の支援」に記載の内容に同じ(p.10)

### 3 障害者支援センター多機能型事業所

#### (5)就労定着支援事業

##### 1 事業概要

就労移行支援事業等の利用を経て一般就労へ移行した障害者に対し、相談や企業訪問を通じて企業や家庭等と連携を図り、働くことに伴う課題を確認し、就労定着に必要な支援を行った。また、契約者にアンケート調査を実施し、ニーズ把握を行った。

##### 2 事業内容

###### (1)のべ契約者数

単位:人

年度	男	女	合計
R2	17	8	25
R元	17	7	24

###### (2)年間支援状況

就労者の職場定着を支援するため、企業への巡回訪問や、利用者や家族等の面談を行い、企業や家庭との連携を図った。

単位:件

年度	企業訪問	来所	電話等	合計
R2	49	158	872	1,079
R元	110	156	544	810

###### (3)支援企業状況

就 労 先	対象者数
(株)ビーネックスウィズ	3
プライムデリカ(株)相模原第一工場	1
(株)ラッシュジャパン	1
神奈川スタッフ(株)	1
(福)恩賜財団神奈川県同胞援護会相模原養護老人ホーム	1
(医社)小松会 小松会病院	1
昭和電線ケーブルシステム(株)相模原事業所	1
NECファシリティーズ(株)	1
(株)レンティック中部伊勢原事業所	1
(株)スリーエス・サンキュウ	1
(福)大地の会特別養護老人ホーム塩田ホーム	1
(株)丸和運輸機関	1
(株)ハートフルアクア	1
トッパン・フォームズ・オペレーション(株)	2
(株)ウエルストーンエクスプレス相模原営業所	1
佐川急便(株)相模原緑営業所	1
(福)上溝緑寿会コスモスセンター特別養護老人ホームコスモスホーム	1
相模原市教育委員会教育センター	1
わらべや日洋(株)相模原工場	1
(株)富士薬品ドラッグストアセイムス南橋本店	1
(福)幸会特別養護老人ホーム大野台幸園	1
(株)カワタキコーポレーション相模センター	1

## 4 銀河

### (1)生活介護事業

#### 1 事業概要

一人ひとりがその人らしい充実した生活を送れるよう、食事や排泄等の介護を実施して身体能力及び日常生活能力の維持・向上を図るための支援を行った。

個々の特性やニーズに応じた様々な活動を通して、利用者の社会参加を実現するための支援を行った。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、活動班ごとの行事開催や、分散して少人数での活動の実施、給食の提供などの対策を行った。

#### 2 事業内容

##### (1)利用者数(3月末日現在)

単位:人

年度	男	女	合計
R2	28	13	41
R元	29	13	42

##### (2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R2	237	40	7,945	83.8%
R元	237	40	8,299	87.5%

##### (3)活動

###### ア 日常生活の支援

a 個別支援計画の作成(個別支援検討会 85回実施)

b 相談支援

c 健康診断(11月16日)・健康相談(11月20日)

###### イ 送迎

送迎車5台で6コースの送迎を実施した。

###### ウ 食事の提供

アレルギーや摂食機能に配慮した食事を提供した。

###### エ 日中活動・活動プログラム

内 容	実施回数等
創作活動	ビーズや布草履、小物、季節に合わせた作品等に取り組んだ。
音楽活動	カラオケ等を楽しんだ。
園芸活動	多肉植物の栽培やプランターを使用した園芸活動を行った。大沢ボランティアの協力を得て「花のまちづくり、みどりいっぱい運動」に参加した。
健康づくり	ラジオ体操や散歩、ホールでのダンスなどを行った。
レッツミュージック	12回実施
マイチョイス (音楽・体操・図工)	12回実施
エクササイズ (体操・ヨガ・エアロビクス)	32回実施

オ 行事

内 容	実施回数等
バス旅行	中止
お楽しみ外出	9月～1月 14グループ (近隣公園の散策等)
レストランランチ	中止
映画鑑賞	12回
お花見	淵野辺公園桜並木、芝桜等を楽しんだ。
夏祭り	8月4日～7日(各活動班で実施)
松が丘園祭	代替イベント ・フランクフルトを食べよう ・ポップコーンを食べよう ・自主製品販売会 ・作品展示
忘年会	12月15日～25日(各活動班で実施)
新年会	1月22日(各活動班で実施)
お茶会	3月9日～19日(各活動班で実施)
音楽交流会	中止
その他	ゆかた撮影会、ハロウィン撮影会、豆まき、バレンタイン、活動DVD鑑賞

カ 地域交流・ボランティア受け入れ

内 容	実施回数等
カット(理容)ボランティア	5回 延べ68名カット
大沢地区男性ボランティア	2回 6名
近隣大学との交流	中止

キ その他

- a 福祉オンブズマンネットワーク活用<年6回来所>
- b 利用者満足度調査の実施<年1回実施>
- c 防災訓練の実施<防災訓練2回、避難訓練11回>
- d 「銀河だより」発行<3回発行>
- e 家族報告会

活動紹介DVD配布及び書面での意見要望聞き取り

実施日	出席者等
第1回 9月	DVD配布 26名
第2回 2月	DVD配布 28名

- f 学生実習受け入れ  
介護等体験実習 6名(延べ60日)
- g 見学受け入れ  
支援学校、他施設職員等の見学 12名

## 4 銀河

### (2)ガイドヘルプサービス事業所

#### 1 事業概要

移動・外出に困難を有する障害児・者を対象に、移動の援護、排泄・食事の介助、代筆・代読を含む視覚的情報の支援などを行うガイドヘルパーを派遣した。新型コロナウイルス感染症の対応では、感染状況や感染予防についての情報提供、感染予防物品の配布等の対策を講じ、緊急事態宣言などに応じて派遣を行った。

また、登録ヘルパー向け定期研修は配信や資料配布で実施し、資格取得のための「同行援護従業者研修」と「知的障害者ガイドヘルパー養成研修」は中止とした。

#### 2 事業内容

##### (1)ガイドヘルパーの利用件数及び利用時間

新型コロナウイルス感染予防のための外出自粛が大きく影響し、利用件数は前年度の61.4%、利用時間数は前年度の36.1%となった。

##### ア 身体障害者 ( )は同行援護の状況

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R2	62	2,177	6,494時間00分	2時間59分
	(58)	(2,155)	(6,421時間00分)	(2時間59分)
R元	66	3,540	17,856時間30分	5時間02分
	(60)	(3,447)	(17,354時間30分)	(5時間02分)

##### イ 知的障害者

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R2	37	383	845時間00分	2時間12分
R元	45	584	2,333時間00分	3時間59分

##### ウ 障害児

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R2	1	0	0時間00分	0時間00分
R元	8	43	162時間00分	3時間46分

##### エ 合計

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R2	100	2,560	7,339時間00分	2時間52分
R元	119	4,167	20,351時間30分	4時間53分

## (2)ガイドヘルプサービスの質の向上

ガイドの質を向上するために、登録ヘルパーを対象に年4回の定期研修を実施した。新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、配信や資料配布で実施した。

### ア 定期研修

感染防止対策として、配信と資料配布で実施。

実施日	内 容	人数
4 月	「登録ガイドヘルパーマニュアル」の説明	56
8 月	・不適切支援について考える ・虐待防止セルフチェックリスト	56
11 月	・新型コロナウイルス感染症について	56
2 月	・新型コロナウイルス感染症について ・虐待防止セルフチェックリスト	56
合計 4 回	—	224

### イ 同行援護従業者養成研修

実施日	形態(時間数)	人数
中止		

### ウ 知的障害者ガイドヘルパー養成研修

実施日	形態(時間数)	人数
中止		

## (3)登録ガイドヘルパーの確保

ガイドヘルパーを確保するために、年間を通して募集を行った。

年度	登録ヘルパー数(3月末現在)
R2	56
R 元	62

## 5 障害者支援センター

### (1) 障害者地域就労援助センター事業

#### 1 事業概要

企業開拓、求人情報と求職者のマッチング機会の拡大、職場定着支援の効率化などを図りながら、障害のある方の多様なニーズに応える就労支援を行うとともに、市内の就労移行事業所への支援、定着支援事業との連携もあわせて行った。

なお、「障害者就業・生活支援センター事業」、「相模原市発達障害支援センター就労支援事業」及び「無料職業紹介事業」との一体的な運営により就労支援を行った。

新型コロナウイルス感染症対策として、対面での対応が難しい場合等は、電話やオンラインツール等を活用した支援を行った。

#### 2 事業内容

##### (1) 事業所開拓の状況

本人の希望と適性に合った企業を開拓し、利用者の職域拡大と適職に就くための支援を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、開拓件数は減少となった。

単位:件

年度	開拓状況	協力企業	検討中企業
R2	1,324	41	1
R元	1,484	98	0

##### (2) 就労状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、就労者数は減少となった。

単位:人

年度	就労者	男	女
R2	70(1)	47(0)	23(1)
R元	88(9)	62(7)	26(2)

\*1 ( )は障害者支援センター多機能型事業所の登録者の就労及びトライアル雇用の状況

\*2 就労継続支援A型事業所への就労者は含まない。

		令和2年度の主な就労先	所在地
男 47人	(株)アマダプランテック		伊勢原市
	コニカミノルタウィズユー(株)		八王子市
	(株)東鈴紙器		中央区小町通
	河西工業(株)寒川工場		高座郡寒川町
	三菱UFJビジネスパートナー(株)		中央区相模原
	ヤマトオートワークス(株)神奈川営業所		中央区横山台
	スギスマイル(株)スギ薬局相模が丘店		座間市
	日立ゆうあんどあい		横浜市戸塚区
	日本郵政(株)橋本郵便局		緑区西橋本
	日本郵政(株)相模原郵便局		中央区富士見
	イオンリテール(株)イオンスタイル多摩平の森店		東京都日野市
	(株)モードプランニングジャパン相模大野雲母保育園		南区相模大野
	オリンパスサポートメイト(株)		東京都八王子市
	NPO 法人シンフォニー住宅型有料老人ホームワルツ		南区東大沼
	アフラック・ハートフル・サービス(株)		東京都調布市
	プライムデリカ相模原第2工場		南区当麻
(株)白洋舎リネンサプライ相模事業所		厚木市	

	モランボン(株)神奈川工場	緑区橋本台
	日本郵政(株)八王子南郵便局	東京都八王子市
	神奈川県(神奈川県立津久井高等学校)	緑区三ヶ木
	東プレ(株)相模原事業所	中央区南橋本
	MHI さがみ物流サービス(株)	中央区田名
	(株)東急ウィル	川崎市中原区
	横河レンタ・リース(株)相模原事業所	中央区矢部
	ネットトヨタ神奈川 U-car 淵野辺店	中央区鹿沼台
	神奈川県(神奈川県立橋本高等学校)	緑区橋本
	神奈川県(神奈川県立総合産業高等学校)	南区文京
	都市環境サービス	愛甲郡愛川町
	(株)マルテー大塚(日建リース(株)はーとふる農園愛川)	愛甲郡愛川町
	JA 全農ミートフーズ(株)	中央区上溝
	DHL サプライチェーン相模原ロジスティックセンター	中央区田名
	(株)アルプス技研	東京都中野区
	相模原市教育委員会総務局総務部	中央区中央
	三菱地所プロパティマネジメント(スタートライン内インクル MARUNOUCHI)	東京都千代田区
	グランジュール横山台	中央区横山台
	東京濾器(株)第1工場	中央区田名塩田
	東レ(株)(日建リース(株)はーとふる農園愛川)	座間市
	(株)ビーネックススイズ	中央区南橋本
	富士薬品(株)ドラッグセイムス相模原店	中央区横山
女 23人	(株)ビーネックススイズ	中央区南橋本
	(福)草加福祉会特別養護老人ホームマナーハウス麻溝台	南区下溝
	(福)草加福祉会特別養護老人ホームマナーハウス横山台	中央区横山台
	(株)チクブパッケージシステム麻溝台事業所	南区麻溝台
	(株)モードプランニングジャパン町田多摩境雲母保育園	東京都町田市
	(株)サンデリカ相模原事業所	緑区町屋
	(株)メディカルライフケア住宅型有料老人ホームさがみはら悠生苑	中央区横山台
	サンデリカ相模原事業所	緑区町屋
	アフラック・ハートフル・サービス(株)	東京都調布市
	オープンハウス・アーキテクト(スタートライン内八王子第一センター)	東京都八王子市
	医療法人啓明会相原病院	緑区相原
	ユナイテッドアローズ(スタートライン内相模原第一センター)	中央区相模原
	アスクくげぬま北保育園	藤沢市
	セーキ三菱重工業(株)相模原製作所内	中央区田名
	幸会特別養護老人ホーム大野台幸園	南区大野台
	パーソルチャレンジ(株)横浜オフィス	横浜市神奈川区
	(株)キャリアパワー(女子美術大学・女子美術短期大学部図書館(相模原図書館))	南区麻溝台
	箱根そば橋本店	緑区橋本
	トライトエンジニアリング(株)(スタートライン内相模原第	中央区相模原

	ーセンター)	
	安藤・間(スタートライン内IBUKIFUJISAWAFARM)	藤沢市
	(福)相模原市社会福祉事業団	中央区松が丘
70人	—	

### (3)就労後の支援状況

就労者の職場定着を支援するため、企業への定期的な巡回訪問や、就労者からの相談等に対応した。養護学校卒業時に就労が決まった生徒に関しては、3年間の移行期間を経て、学校から就労援助センターへ定着支援を引き継ぐ流れができているため、定着支援の対象となる在職者は年々増加する状況である。

在職者数 (令和3年3月31日現在)	640人
-----------------------	------

年度	企業訪問等	その他	合計
R2	1,424件	1,361件	2,785件
R元	1,416件	493件	1,909件

### (4)職場実習の実施

年度	対象者数	延べ日数
R2	34	159
R元	64	233

実習先	対象者数
清和サービス(株)	2
相愛病院	1
幸会特別養護老人ホーム幸園	1
三菱重工業(株)	1
ネットヨタ神奈川	1
ニコンつばさ工房横浜事業所	1
ニコンつばさ工房相模原事業所	1
幸会特別養護老人ホーム大野台幸園	1
相模原市勤労者福祉サービスセンター	11
けやきカフェ	4
日本郵政(株)八王子南郵便局	3
悠生園	1
はーとふる農園	6

### (5)就労援助センター利用状況

年度	新規相談者数	新規登録者数	作業室利用者数
R2	120	117	延べ 51
R元	122	88	延べ 37

#### ア 新規相談者の状況

##### ① 所属別

単位:人

年度	地域作業所	施設	企業	在宅	在学	不明	合計
R2	2	16	53	31	18	0	120
R元	3	8	31	41	39	0	122

② 障害別

単位:人

年度	知的障害	身体障害	精神障害	その他	合計
R2	65	7	45	3	120
R元	60	14	42	6	122

③ 年齢別

単位:人

年度	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳以上	不明	合計
R2	25	37	26	20	12	0	120
R元	40	29	17	19	17	0	122

イ 新規登録者の状況 <所属別>

単位:人

年度	地域作業所	施設	企業	在宅	在学	合計
R2	0	8	80	29	0	117
R元	0	9	58	21	0	88

<参考>令和3年3月31日現在の登録者数991人

ウ 就労準備プログラムの実施

年度	延べ参加者数	講座回数	主な内容
R2	17	4	会社体験
R元	37	8	会社体験、模擬面接会 等

※新型コロナウイルス感染症の影響により、2回中止

(6) 無料職業紹介事業

年度	事業所登録数	求人件数	求職票提出件数	紹介件数	就職件数
R2	13	20	116	20	20
R元	26	34	91	34	34

(7) その他の事業

ア 各種研修の実施

年度	参加者数	講座回数	主な内容
R2	32	3	・面接トレーニング
R元	20	3	・面接トレーニング ・就労援助に役立つアセスメント

イ 社会生活技能訓練(SST講座)の実施

実施日	参加者数	内 容
11月7日	4	求職活動中及び就労中の方向けのSST講座①
11月21日	4	求職活動中及び就労中の方向けのSST講座②
11月28日	4	求職活動中及び就労中の方向けのSST講座③

ウ 生活力アップ講座(法人内連携事業)の実施

実施日	参加者数	内 容
2月19日~3月4日	8	生活力UP講座「楽しく学ぶスマートフォン講座」
3月11日~23日	11	生活力UP講座「人とうまくつきあう方法」

エ 就労援助センター情報の発行

発行月	配布先
5月・8月・11月・2月	就労援助センター登録者

オ フォローアッププログラム(余暇的定着支援)の実施

実施日	参加者数	内容
9月5日	—	折り鶴で壁画を作ろう(中止)
12月27日	2	LINE のビデオ通話を使って話をしてみよう(精神)
2月20日	1	LINE のビデオ通話を使って話をしてみよう(知的)
2月19日～3月4日	8	楽しく学ぶスマートフォン講座
3月11日～23日	11	人とうまくつきあう方法
3月3日～26日	12	フォローアッププログラムでやりたいこと

カ 関係機関等との連携

日時	参加回数	内容
7月21日ほか	3	さがみはら精神障害者就労支援協議会への参加
11月28日	1	難病対策地域協議会への参加

キ 緑障害者相談支援キーステーションにおける就労相談の実施

就労相談機能拡充の一環として、緑障害者相談支援キーステーション内に就労相談窓口を設置し、相模原市津久井方面の就労相談者に対応した。

年度	新規相談件数	継続相談件数
R2	12	69
R元	7	74

ク 精神保健福祉センターとの連携

精神保健福祉センターと連携し、在宅の精神障害者を対象に、就労への意欲向上、社会参加への動機付けを促進するため、企業内での実習を行った。

年度	延べ協力企業数	延べ参加者数
R2	1社	6名
R元	1社	5名

ケ 大学等、在学中の学生支援に関する連携と支援

年度	訪問等回数	連携先
R2	2	麻布大学、チャレンジドジャパン相模原センター
R元	5	大妻女子大、明星大、青山学院大、就労移行事業所ワークアシスト他

コ 就労移行支援事業所合同説明会

市内の就労移行支援事業所についての理解促進と情報提供のための就労移行支援事業所合同説明会を、動画配信方式で実施した。

- ・動画配信期間 令和3年1月29日～2月28日
- ・動画提供元事業所 15事業所
- ・配信期間中の視聴数(アクセス数) 619件

## 5 障害者支援センター

### (2)障害者就業・生活支援センター事業

#### 1 事業概要

就職を希望する障害者や在職中の障害者に対して、雇用及び福祉の関係機関との連携の下、就業面及び生活面の一体的な支援を行った。

また、企業開拓、求人情報と求職者のマッチング機会の拡大、主任職場定着支援担当者の配置、職場定着支援の効率化などを図るとともに、就職支援に係る支援計画の作成を順次行い、障害のある方の多様なニーズに応える就労支援を行った。

なお、「就労援助センター事業」、「相模原市発達障害支援センター就労支援事業」及び「無料職業紹介事業」との一体的な運営により就労支援を行った。

新型コロナウイルス感染症対策として、対面での対応が難しい場合等は、電話やオンラインツール等を活用した支援を行った。

#### 2 事業内容

(1)事業所開拓の状況 ～ (6)無料職業紹介事業 については、  
5-(1)障害者地域就労援助センター事業の内容を参照(p.20～23)

#### (7)就労支援ネットワークの構築

名称	実施日	出席者	内容
相模原・県央地域 障害者雇用のため の企業交流会	7月	—	神奈川県との共催で準備を進めたが中止
中小企業における 障害者支援担当者 に対する支援	3月16日	6社	障害者雇用率改定のお知らせ、当センターの説明資料、障害者雇用要望質問シート等を送付
情報共有化会議	5月	—	5/18 中止決定
	7月	—	6/16 中止決定
	9月	—	8/31 中止決定
	11月17日	7機関	・各機関の実施状況について ・就労移行支援事業所合同説明会の開催について
	1月	—	1/19 中止決定
	3月23日	7機関	オンラインでの実施 ・各機関の実施状況について ・就労移行支援事業所合同説明会についての報告等
相模原障害者 就労支援連絡会	7月	—	6/16 中止決定
	3月23日	15 機関	オンラインでの実施 ・各機関の実施状況について ・就労移行支援事業所合同説明会についての報告等

(8)その他の事業

ア 職場定着支援促進のための在職者の交流活動

実施日	参加者数	内 容
9月5日	—	折り鶴で壁画を作ろう(中止)
10月18日	1	Teams を利用した交流会
12月27日	2	LINE のビデオ通話を使って話をしてみよう
2月19日～3月4日	8	楽しく学ぶスマートフォン講座
3月11日～3月23日	11	人とうまくつきあう方法

イ 関係機関等との連携

日 時	参加回数	内 容
6月12日ほか	4	地域連携のためのワンストップ相談への対応
7月27日ほか	3	神奈川障害者就業・生活支援センター連絡会議への参加
9月28日	1	労働局都道府県連絡会議への参加
12月4日	1	障害者就業・生活支援センター南関東ブロック会議への参加
1月27日	1	主任職場定着支援担当者経験交流会への参加

ウ ピアサポート活動の実施

実施日	参加者数	内 容
10月12日	4	「職場体験を振り返って」をテーマに当事者(精神障害)が講師を担う、ピアサポート活動を実施

エ 職員の資質向上

日 時	内 容
10月7日	障がい者テレワーク就労セミナーへの参加
2月18日	自治体担当者等向け労働法の教え方セミナーへの参加
3月5日	ワークサンプル幕張版に関する集合研修への参加

## 5 障害者支援センター

### (3)地域障害者施設支援事業

#### 1 事業概要

障害福祉に関する幅広い研修を体系的に行うことにより、市内障害福祉従事者の支援技術を向上し、地域の福祉力を高めるとともに、市民等を対象にした障害福祉への理解を促進するための研修、障害当事者やその家族への情報提供を目的とした研修を実施した。また、障害福祉サービス事業所の人材確保、工賃アップに向けた支援及び障害福祉サービス事業所や団体の活動支援を行った。

新型コロナウイルス感染症対策については、研修や講座はオンライン研修、動画配信、通信講座等、実施形態を内容や効果に合わせて実施し、会議や情報提供については、郵送よりもメール等を多く活用し、書面評決の機会を多くした。

#### 2 事業内容

##### (1)福祉研修センター事業

###### ア 主催研修の実施

年度	開催回数	参加者数	主な内容
R2	44回	782人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉基礎研修 19回</li> <li>・支援技術向上研修 7回</li> <li>・特別研修 2回</li> <li>・障害当事者、家族、市民等向け研修 等 16回</li> </ul>
R元	51回	1,580人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉基礎研修 15回</li> <li>・支援技術研修 16回</li> <li>・障害当事者、家族、市民等向け研修、 管理運営業務研修 等 20回</li> </ul>

※令和2年度実施状況の詳細は巻末の研修一覧表参照

###### イ 研修受講履歴カードと研修受講修了証の作成

年度	説明会参加者数	研修受講履歴カード作成数	修了証作成・交付人数
R2	52人	91件	1人
R元	29人	29件	11人

###### ウ 研修情報の集約と発信

福祉研修センターが主催する研修のほか、関係機関・団体等が開催する障害福祉関連の研修情報を取りまとめ、毎月1回「研修情報定期便」として、障害福祉サービス事業所に情報提供を行った。

年度	年間件数(うち外部研修実施機関)	配布事業所数
R2	54(11)件	3,523 か所
R元	242(30)件	16,253か所

###### エ 福祉研修センター事業意見交換会

市内の障害福祉団体及び障害福祉関係者に学識経験者を交えて、福祉研修事業に関する意見交換会を実施した。

###### オ 研修に関する企画支援

市内の障害福祉サービス事業所・団体等で開催する研修の企画支援を実施した。また、障害福祉サービス事業所や団体等の要望に応じ、事業団職員を研修の講師などとして派遣をした。

### ①研修実施支援

年度	回数	相談内容
R2	20回	講師選定、研修の周知方法、他の研修実施機関
R元	10回	講師選定、研修の周知方法、他の研修実施機関

### ②派遣実績

年度	回数	主な派遣先	講義内容等
R2	17回	神奈川県 特定非営利活動法人ほっと 基幹相談支援センター 福祉研修センターほか	神奈川県相談支援従事者初任者研修演習ファシリテーター 神奈川県相談支援従事者初任者研修強化研修演習ファシリテーター 神奈川県相談支援従事者現任研修 神奈川県主任相談支援専門員養成研修 スーパーバイズ研修 ストレングスエンパワメントの視点を学ぶ 福祉サービスを学ぼう 相談支援専門分野研修 ほか
R元	31回	神奈川県 ほか	県相談支援従事者現任研修 ほか

### カ 強度行動障害支援者養成研修

相模原市の委託事業として、県の事業者指定を受けた強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)を、今年度から実施した。

年度	実施日			会場		
R2	12月14日(月)、12月15日(火)			障害者支援センター松が丘園 研修室		
	講義数	講師人数	講師補助者数	申込者数	受講者数	修了者数
	15講義	11人	8人	60人	27人	26人

### (2)障害福祉サービス事業所等人材確保事業

例年開催していた「福祉のしごと相談会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とし、かながわ福祉人材センターや民間求人業者からの情報収集を積極的に行った。

また、けやき体育館に設置した「就職情報コーナー」について、相模原市障害福祉事業所協会と相模原市障害者地域作業所等連絡協議会に利用の周知を行った。

### (3)工賃アップ支援事業

市内の障害福祉サービス事業所等が生産活動を充実し、利用者の工賃アップにつながるための支援を行った。

#### ア 受注作業・自主製品作業紹介事業

官公需の受注や市内の企業への訪問などによる作業の開拓を行う受注調整窓口を設置し、受注を希望する障害福祉サービス事業所等へ作業の紹介を行った。

年度	紹介件数	主な内容
R2	118件	ポスティング、ラベル貼り、シール貼り、感染症予防板作成、フェイスシールドフレーム加工、がん検診クーポン封入、草刈り、樹木の伐採、除草、トイレ清掃、プリント基板製造 ほか
R元	43件	DM封入、記念品、こけ玉作り、チラシ折り、手帳の分解・仕分け・組み立て、クッキー製造・袋詰、ドライフルーツや紅茶等の計量・袋詰め、スカーフ・のぼり旗作成 ほか

イ パオバブ・福祉ショップあおば・麦の穂・販売会年間売上額

単位:円

年度	ハンドメイド ショップ パオバブ (あじさい会館)	福祉ショップ あおば (ユーコープ 並木あおば店)	麦の穂 (松が丘園)	販売会 出店支援	合計
R2	8,535,315	1,847,890	332,490	0	10,715,695
R元	10,829,120	476,740	201,330	33,760	11,540,950

ウ 生産活動に関する情報交換会の開催

就労継続支援 B 型事業所及び地域活動支援センターを対象に、市担当課職員を交えて、生産活動に関する課題の共有及び情報交換を実施した。

(4)地域作業所等の運営に関する支援・相談事業

年度	運営相談件数	地域活動支援センター等 運営委員会への 出席・書面評決回数	事務機器の提供件数
R2	2 件	4回(全て書面評決)	126 件
R元	0件	5回	342件

(5)団体への支援

相模原市障害者地域作業所等連絡協議会・相模原福祉オンブズマンネットワーク

年度	会議等の開催回数	事業等の支援回数
R2	54 回	6 回
R元	30回	51回

(6)松が丘園通信の発行

発行月	配布先
4月・8月・10月・12月・2月	障害福祉サービス事業所・行政機関等の関係機関

## 5 障害者支援センター

### (4)手話通訳者等養成事業

#### 1 事業概要

聴覚障害者のコミュニケーションを円滑にし、社会参加を促進するために必要な手話通訳者および要約筆記者の人材育成を行った。新型コロナウイルス感染症対策として、広い会場で遮蔽板やフェイスシールド等を活用し、講座を開催した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点に伴う相模原市からの要請に基づき、各講座の開始が8月からと、例年より遅いスタートとなった。

手話講座(初級、中級、フォローアップ)については、内容を圧縮したカリキュラムで進行していたが、1月からの2回目の緊急事態宣言の発出等により、講座を中止したことで、当初予定の約半数の開催にとどまることが明らかとなり、やむなく打ち切りとした。

要約筆記者養成講座については、令和3年7月までのカリキュラムに組み立て直し、年度を跨いで講座を進行する予定である。

#### 2 事業内容

単位:人

年度	内容	受講者数	修了者数
R2	手話講座・初級 (火曜日 10:00~12:00・全 14 回)	19	0
	手話講座・中級(基礎編) (金曜日 19:30~21:30・全 14 回)	23	0
	手話講座・フォローアップ (水曜日 10:00~12:00・全 18 回)	7	0
	手話上級講座・通訳者養成課程(県委託) *人数は下記注記参照	4	1
	要約筆記者養成講座(手書きコース) (木曜日 10:00~12:00・全 17 回)	5	0
	要約筆記者養成講座(パソコンコース) (木曜日 10:00~12:00・全 17 回)	7	0
R元	手話講座・初級 (金曜日 19:30~21:30・全29回)	23	20
	手話講座・中級(基礎編) (火曜日 10:00~12:00・全34回)	29	25
	手話講座・フォローアップ (水曜日 10:00~12:00・全36回)	7	6
	手話上級講座・通訳者養成課程(県委託) *人数は下記注記参照	3	2
	要約筆記者養成講座(手書きコース) (木曜日 10:00~12:00・全41回)	3	2
	要約筆記者養成講座(パソコンコース) (木曜日 10:00~12:00・全42回)	4	2

(注記) 上級講座は15か月間のため、受講者数は当年度受講者、修了者数は前年度受講開始の修了者の表記である

## 5 障害者支援センター

### (5)基幹相談支援センター等事業

#### 1 事業概要

相模原市の障害児・者及びその家族の地域生活における様々な課題に対して、基幹相談支援センターの機能を軸に、総合的な相談に応じ、関係機関と連絡調整を行い、地域における信頼を得ながら、相談支援を基盤として丁寧に実践を重ね、市内相談支援事業所の中心的な機関としての役割を担うとともに、自立支援協議会の運営、関係機関とのネットワークの構築、人材育成の強化等に取り組んだ。

#### 2 事業内容

##### (1)基幹相談支援センターの運営

###### ア 総合相談・専門相談

地域の相談支援の拠点として障害の種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的・専門的な相談支援を実施した。

単位:件

年度	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒の安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
R 2	10,585	189	2,120	1,028	191	1,281	453	3,299
R 元	7,152	351	1,616	820	261	825	602	1,893

年度	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	ピアカウンセリング	その他の支援	支援に関わる関係機関との連絡調整	合計
R 2	802	212	397	0	270	4,911	25,738
R 元	500	48	252	1	166	2,936	17,423

※件数は、「2 障害者支援センター相談支援事業所」(p.6記載)に係る相談を含む

###### イ 虐待防止・権利擁護に関する研修

相模原市内の支援者等に対し、虐待防止・権利擁護の意識向上を図るための研修をオンラインで実施した。

年度	開催回数	内 容	*は福祉研修センター研修一覧表再掲
R2	11	従事者コース(9回 うち同内容複数回実施)(*）、管理者向け研修(*）、養護者向け研修(*)	
R 元	6	従事者コース(4回 うち1回は野澤和弘氏講演)(*）、使用者コース、民生委員向け研修	

###### ウ スーパーバイザー派遣事業

サービス担当者会議等での専門的な助言や津久井やまゆり園意思決定支援に係る会議にスーパーバイザーとして参加するなど、支援方法の検討・助言、情報提供を行った。

年度	内 容	件数
R2	支援方法の検討・助言、情報提供	101
R 元	支援方法の検討・助言、情報提供	100

エ 基幹相談支援センタースーパーバイズ研修

相談支援専門員の地域リーダーを養成するため、専門家による研修を実施した。

年度	内容	回数
R2	主任相談支援専門員	1
R元	コミュニティワーク	1

オ 基幹相談支援センター相談支援専門分野研修

専門的な知識を基にした相談支援方法を学ぶため、相談支援分野研修を実施した。

年度	内容	回数
R2	家族療法入門講座	3
R元	ソーシャルワークアプローチ研修	1

カ 相談支援専門員研修への運営協力

相談支援従事者研修の実践指導者を養成するとともに、地域に根ざした相談支援専門員を育成するため、神奈川県が実施する相談支援従事者研修へファシリテーターを派遣した。

年度	内容	コース数・派遣人数
R2	相談支援専門員初任者研修へのファシリテーター派遣	1コース 2名
	相談支援専門員現任研修へのファシリテーター派遣	2コース 2名
R元	相談支援専門員初任者研修へのファシリテーター派遣	2コース 5名
	相談支援専門員現任研修へのファシリテーター派遣	2コース 2名

キ 相談支援従事者初任者研修受講者への研修

相談支援従事者初任者研修受講者に対し、相談支援に係る基本的な理解を深めるとともに、受講者等のネットワークを構築し連携を強化するための研修を実施した。

年度	内容	回数
R2	研修課題に対する助言及び相模原市における相談支援体制等について	2
R元	研修課題に対する助言及び相模原市における相談支援体制等について	2

ク 相談機関等とのネットワーク強化の取組

相談支援事業所等に対し、情報提供や情報収集を行った。

年度	内容	件数
R2	事業所等への訪問・電話等対応 ※コロナウィルス感染拡大防止のため、訪問以外の取組を行った	35
R元	事業所等への訪問	63

ケ 相談支援事業所等支援の取組

相談支援専門員に向けて、障害福祉サービス事業所等の空き情報や業務に役立つ資料等を掲載し、相談支援業務のサポート等を行った。

年度	内容	件数
R2	事業所等の空き情報の更新	89
R元	事業所等の空き情報の更新	244

## (2) 相談支援体制整備事業

相模原市障害者自立支援協議会を相模原市と協働運営し、地域における安心した暮らしを支えるため、障害福祉に従事する者・障害者・家族等が、支援体制の整備に向けた取り組みを行った。コロナ禍における社会情勢に合わせ、オンライン会議を実施した。継続的な議事に対する意見交換により、各区課題検討会・各部会それぞれの成果物を作成する取組となった。

年度	開催回数	内容
R2	47	全体会 運営会議 権利擁護・虐待防止検討部会 *ワーキングチーム活動含む 地域課題調整部会 人材育成部会 区課題検討会(緑区・中央区・南区) *ワーキングチーム活動含む 研修(福祉研修センター共催研修)  ※新型コロナウイルス感染拡大により 6 月までの全体会議、運営会議、各部会は全て中止。また 7 月の各部会は書面会議。9 月以降はすべてオンラインで実施
R元	36	全体会 運営会議 権利擁護・虐待防止検討部会 *ワーキングチーム活動含む 地域課題調整部会 人材育成部会 区課題検討会(緑区・中央区・南区) 研修(福祉研修センター共催研修) 視察研修

## (3) 社会生活力を高める事業

### ア 生活力アップ講座

当事者のエンパワメントの促進や本人と家族が地域で安心して生活するために各種講座をオンラインの活用を中心に実施した。当事者に対し、オンラインの操作方法を個別に学ぶ時間を設けた。また、同様の講座を実施する法人内の他部門と職員間で連携を図り、共通教材等を作成し実施した。

※エンパワメント:障害のある方の長所、力、強さに着目して援助し、ご本人が希望を叶えるため主体的に取り組めるようになることを目指すもの。

年度	開催回数	延べ参加人数	内容
R2	6	29	社会生活技能訓練(SST)講座 身を守る講座 自立促進当事者ミーティング 生活力アップ講座 家族支援講座
R元	11	99	社会生活技能訓練(SST)講座 身を守る講座 自立促進当事者ミーティング 生活力アップ講座(出張講座は中止) 家族支援講座(中止)

\*上記講座は福祉研修センター研修一覧表再掲

#### イ 意思決定サポート事業

意思形成サポートとして、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体験宿泊は行わず、本事業の目的である「自立」をテーマに、家族向け講座を実施した。また、意思表出サポートとして、重症心身障害児者を支援する市内障害福祉サービス事業所の一部を対象に、意思決定支援の具体的な取組についてヒアリングを実施した。

年度	内 容	合計
R2	家族向け講座	5人
	重症心身障害児者の意思決定支援の取組に関するヒアリング調査	2事業所
R元	グループホーム体験宿泊	12人
	重症心身障害児者の意思決定支援の取組に関するアンケート調査	21事業所

## 6 障害者一時ケア事業

### 1 事業概要

障害児・者の家族が、通院や冠婚葬祭のため家庭内での介護が一時的に困難な場合や日ごろの介護疲れを解消し休息やゆとり(レスパイト)をとるため、障害児・者を一時的に介護した。

新型コロナウイルス等の感染対策のため、利用者が安全に、かつ、安心して過ごすことができるよう、感染予防に留意し過ごしやすい環境を提供した。また、スタッフには健康管理と体調悪化時の速やかな報告、マスク着用の義務付けなどを行うとともに、利用者の家庭にも日ごろの健康管理をお願いし、利用開始時にも検温等の健康チェックを徹底した。

### 2 事業内容

#### (1)登録状況(3月末日現在)

##### ア 登録者の状況

年度	登録者数	うち新規登録者数
R2	282	13
R元	290	26

##### イ 障害別の登録者数

単位:人

年度	身体障害	知的障害	自閉症	重複障害	その他	合計
R2	7	68	101	106	0	282
R元	9	83	98	99	1	290

##### ウ 年齢別登録者数

単位:人

年度	6~11歳	12~14歳	15~17歳	18~30歳	31歳以上	合計
R2	38	22	26	128	68	282
R元	53	26	43	106	62	290

#### (2)利用状況

午前8時30分から午後10時まで開所した。(年末年始6日、休所日4日を除く)

※緊急事態宣言下は、急病等社会的理由以外での利用は原則午後8時までとした。

##### ア 利用者の状況

年度	開所日数	延べ利用者数	平均利用者/日	平均利用時間/人
R2	356	1,204	3.4人	5時間58分
R元	355	1,774	5.0人	5時間35分

##### <休日の状況(内数)>

年度	開所日数	延べ利用者数	平均利用者/日	平均利用時間/人
R2	113	772	6.8人	7時間04分
R元	115	946	8.2人	7時間03分

##### イ 障害別の延べ利用者数

単位:人

年度	身体障害	知的障害	自閉症	重複障害	その他	合計
R2	7	220	543	434	0	1,204
R元	40	453	669	612	0	1,774

※その他は精神障害等

ウ 年齢別延べ利用者数

単位:人

年度	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～30歳	31歳以上	合計
R2	90	57	192	626	239	1,204
R元	136	176	280	889	293	1,774

(3) 医療的ケアの必要な利用者の利用状況

年度	利用実人数	延べ利用者数	医療的ケア実施回数
R2	7	33	193
R元	16	75	400

(4) 困難要因のある利用者の利用状況

年度	対象者数	延べ利用者数
R2	29	226
R元	26	300

※困難要因のある利用者:複数の職員による対応が必要な方や他の事業所での利用が難しい方

(5) 登録者及び家族への情報提供

レスパイト便りの発行:年2回(10月、1月)

(6) 非常勤職員研修の実施

利用者の個々のニーズに合わせたケアを行うため、職員の知識や技術の向上を目的に、非常勤職員等を対象にした研修会を実施した。

年度	回数	延べ参加者数	内容
R2	22	114	○「障害児・者への虐待防止」をテーマに少人数で DVD の視聴等を行った。延べ34人のスタッフが参加した。 ○利用者支援の質の向上を目的に、コーディネーター等で共有した情報をスタッフへ伝達する「ケア会議」を計21回(延べ80人参加)行った。
R元	9	107	姿勢作りについて、呼吸介助法について、移乗について、摂食研修、重症児・者とその家族の思いについて、ストレングスの視点・記録の方法

(7) 非常勤職員向け情報紙の発行

新型コロナウイルス感染症への対策など事業実施にあたっての最新情報(トピックス)、ケアにおける必要な知識、スタッフのケアへのモチベーション向上を目指して利用者からの声などを掲載した情報紙「ケアの達人」を発行し、一時ケア事業について意思統一を図り、事故防止に役立てた。(年2回・計131部)

また、利用者およびスタッフの安全確保を目的に、全登録職員へ新型コロナウイルス感染症対策の行動指針等を発信した(年3回)

(8) 障害者一時ケア事業所連絡会の実施

市内の障害者一時ケア事業所の利用者の安全確保を目的に、コロナ禍における状況と課題、取り組みを共有するため、メール・FAXなどによる情報交換、連絡調整を行った。

実施月	内容	参加事業所等
7月	・連絡会の実施方法 ・アンケートの書式決定	松が丘園一時ケア事業 ふれあいデイホーム
2月	・アンケート結果の共有 ・情報交換	もみの木ホーム

## 7 発達障害支援センター就労支援事業

### 1 事業概要

発達障害者及びその家族並びに企業に対し、就労及び雇用に関する相談、指導、情報提供を行う事業を実施することにより、発達障害者の就労支援及び雇用促進を図った。

また、企業開拓、求人情報と求職者のマッチング機会の拡大、職場定着支援の効率化などを図るとともに、就職支援に係る支援計画の作成を順次行い、障害のある方の多様なニーズに応える就労支援を行った。

なお、「障害者地域就労援助センター事業」、「障害者就業・生活支援センター事業」及び「無料職業紹介事業」との一体的な運営により就労支援を行った。

### 2 事業内容

#### (1)実施状況(障害者地域就労援助センター事業報告の一部再掲)

年度	相談件数(延べ件数)	相談人数(延べ人数)	就労者数
R2	1,303	651	13
R元	1,075	587	19

\*就労継続支援A型事業所への就労者は含まない

#### (2)ケース検討会・発達障害支援センター支援検討会議への出席

年度	出席回数
R2	49
R元	51

#### (3)発達障害支援センターでのインテーク面接対応件数

年度	対応件数
R2	8
R元	16

#### (4)グループワークの実施

発達障害支援センターと共同で、発達障害のある方に職業的スキルの獲得を目的に「職場対人技能トレーニング(JST)」「職場体験実習」「職場体験実習振り返り」をグループワークで実施した。

年度	実施回数	参加人数(延べ人数)
R2	2	6
R元	2	8

発達障害支援センターで支援している若者とその保護者のうち、グループ支援を希望する方を対象に、発達障害のある本人が仕事に対するイメージと自己理解を深める動機を高めることを目的に「若者向け職業セミナー」を実施した。

年度	実施回数	参加人数(延べ人数)
R2	1	1
R元	(中止)	—

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した。

(5)職業評価の実施

ワークサンプル幕張版(作業を通して職業適性・就労能力・特性把握を行うための評価検査、略称:MWS)を活用した職業評価を実施した。

年度	延べ実施日数	実施人数
R2	5	5
R元	2	2

自閉症スペクトラムの移行アセスメントプロフィール(知的障害のある自閉症者を対象に、地域生活に必要なスキルの評価を行う検査・略称:TTAP)を実施した。

年度	延べ実施日数	実施人数
R2	8	8
R元	12	12

(6)関係機関等との連携

日時	参加回数	内容
11月13日ほか	3	北里大学大学院心理実践実習 講師派遣 (11/13、16、12/1 発達障害者の就労支援に関するもの)
10月7日ほか	3	発達障害者雇用支援連絡協議会への参加 11/12 : 本会議 ※7月予定の本会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 10/7、2/15 : 成人期部会 ※10/7は書面開催

## 8 障害者相談支援キーステーション事業

### 1 事業概要

相模原市における重層的かつ総合的な相談支援体制の中で、中圏域をカバーする相談支援の場として、南区と緑区にある障害者相談支援キーステーションの運営を基幹相談支援センターと連携して行った。

### 2 事業内容

#### (1) 緑障害者相談支援キーステーションの状況

##### ア 実施内容

場所	緑区合同庁舎2階
開所時間	午前8時30分から午後5時まで(平日)
対象者	緑区在住の障害者及びその家族、関係者等
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区在住の障害者の総合的な相談窓口</li> <li>・継続的な相談支援(福祉サービスにつながりにくい、支援が難しい方など)</li> <li>・区内関係機関の調整</li> </ul>

##### イ 運営

運営について複数法人で協力することにより、相談支援業務の標準化に向け中立公平な視点を持ったチーム支援を実施し、法人間の連携を強化した。

	法人名	相談員配置	
運営主体	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団	1名	週5日
運営協力	社会福祉法人かながわ共同会	1名	週5日
	社会福祉法人かわせみ会	1名	週5日

##### ウ 事業実績

障害種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援を行った。

年度	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状に関する理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒の安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
R 2	2,849	82	1,755	281	78	780	830	1,351
R 元	2,236	144	1,084	296	83	831	758	1,860

単位:件

年度	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他の支援	支援に係る関係機関との連絡調整	合計
R 2	528	58	136	59	2,845	11,632
R 元	708	110	49	62	1,755	9,976

## (2)南障害者相談支援キーテーションの状況

### ア 実施内容

場所	南保健福祉センター1階
開所時間	午前8時30分から午後5時まで(平日)
対象者	南区在住の障害者及びその家族、関係者等
業務内容	・区在住の障害者の総合的な相談窓口 ・継続的な相談支援(福祉サービスにつながりにくい、支援が難しい方など) ・区内関係機関の調整

### イ 運営

運営について複数法人で協力することにより、相談支援業務の標準化に向け中立公平な視点を持ったチーム支援を実施し、法人間の連携を強化した。

	法人名	相談員配置	
運営主体	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団	1名	週5日
運営協力	社会福祉法人県央福祉会	1名	週5日
	特定非営利活動法人エヌピーオーかむ	1名	週5日
	社会福祉法人すずらの会	1名	週5日

### ウ 事業実績

障害種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援を行った。

年度	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒の安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
R 2	2,243	727	1,703	1,731	22	1,661	368	2,553
R 元	2,990	636	1,897	1,762	74	1,674	391	2,375

単位:件

年度	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他の支援	支援に係る関係機関との連絡調整	合計
R 2	872	58	58	41	1,596	13,633
R 元	747	395	118	48	2,257	15,364

## (3)ケース会議、グループスーパービジョンの実施回数

官民協働のチームで包括的に支援することを目的に、所在区の障害福祉相談課、保健福祉課とケース会議を行った。また、支援困難ケース等に対し、福祉の枠組みだけではない新たな支援方法や地域課題の抽出、官民協働、民民連携を目的に、オンラインを活用しグループスーパービジョンを行った。

年度	ケース会議		グループスーパービジョン	
	緑	南	緑	南
R 2	45回	48回	13回	6回
R 元	43回	47回	20回	12回

#### (4)面接トレーニング

面接技術向上を目的に、面接場面のロールプレイをビデオ撮影し、それを基に振り返りを行うものだが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での実施を見送り、所内研修等を実施した。

年度	面接トレーニング
R 2	6 回
R 元	9 回

#### (5)相談支援事業所支援

区内の相談支援力向上を目的に、支援困難ケースに対応する相談支援事業所に対して、支援方法及び考え方の検討や助言などの支援を行った。

年度	緑	南
R 2	13 件	20 件
R 元	27 件	21 件

#### (6)弁護士による助言相談

神奈川県弁護士会と連携し、支援方法等について法的な視点から助言を受ける取組を行った。

年度	助言相談
R2	10 件
R 元	5 件

## 9 けやき体育館

### (1)けやき体育館管理・運営事業

#### 1 事業概要

体育室、機能訓練室、教養室、和室、教室の各室を、障害者団体の優先利用を基本原則として貸出しを行った。貸出しに当たっては、「相模原市立けやき体育館 貸館再開に係る実施要項」に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に取り組みながら、障害者が自主的かつ積極的にスポーツやレクリエーション活動が楽しめるよう支援した。

また、けやきカフェの経営については、けやき体育館来館者への食事と憩いの場の提供という目的のほか、就労を目指す重度障害者を対象にした就労体験実習の場としての活用を図り、障害者の社会参加を支援した。

#### 2 事業内容

##### (1)利用回数・利用率

		体育室	機能訓練室	教養室	和室	教室	合計
R2	利用回数	495.5	252	240	139	267	1393.5
	(うち減免利用)	(355)	(137)	(173)	(62)	(238)	(965)
	(うち一般利用)	(140.5)	(115)	(67)	(77)	(29)	(428.5)
	利用率	80.3%	40.8%	38.9%	22.5%	43.3%	45.2%
R元	利用回数	932	716	694	434	562	3,338
	(うち減免利用)	(782.5)	(397)	(485)	(233)	(372)	(2,269.5)
	(うち一般利用)	(149.5)	(319)	(209)	(201)	(190)	(1,068.5)
	利用率	95.3%	73.2%	71.0%	44.4%	57.5%	68.3%

##### (2)利用延べ人数

		体育室	機能訓練室	教養室	和室	教室	合計
R2	利用人数(延べ)	9,641	2,064	2,819	973	2,828	18,325
	(うち障害者)	(4,000)	(678)	(1,009)	(101)	(1,240)	(7,028)
	(うちその他)	(5,641)	(1,386)	(1,810)	(872)	(1,588)	(11,297)
R元	利用人数(延べ)	27,263	8,265	10,389	4,226	8,116	58,259
	(うち障害者)	(10,363)	(2,993)	(2,884)	(1,119)	(2,502)	(19,861)
	(うちその他)	(16,900)	(5,272)	(7,505)	(3,107)	(5,614)	(38,398)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月1日から6月18日まで休館となった。再開後は通常の開館時間で施設貸出を行っていたが、令和3年1月13日から3月21日まで再び休館となった。3月22日からは夜間利用を除く18時までの時短開館で施設貸出を行った。施設貸出に当たっては、利用人数の制限(通常の定員の半数、激しい運動をする場合は、さらに定員数減)を設け、検温や消毒等の感染症拡大防止対策を行った。

(3)個人開放

毎月第2土曜日及び第4日曜日に実施していた個人開放は、新型コロナウイルス感染症対策により全て中止とした。再開した際に、利用者が安全に安心して利用できるよう、運営方法等について検討を行った。

(4)けやき体育館・けやき会館合同防災訓練の実施

ア 第1回総合防災訓練

- ① 実施日 9月4日(金)
- ② 実施施設 相模原市立けやき体育館及びけやき会館
- ③ 訓練内容 大規模地震発生想定。避難誘導、伝達・通報、及び消火器等操作訓練

イ 第2回総合防災訓練

- ① 実施日 3月20日(土)
- ② 実施施設 相模原市立けやき体育館及びけやき会館
- ③ 研修内容 けやき体育館2階教室火災想定。初期消火、避難誘導及び伝達・通報訓練

(5)福祉求人閲覧コーナーの設置

けやき体育館への一般来場者が障害福祉サービス事業所の求人情報を常時閲覧できるよう、福祉求人閲覧コーナーを設置した。

(6)けやきカフェの経営

新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施すべき事項を定めた「けやきカフェ再開に係る実施要項」に基づき、座席数及び入店人数の制限を行うなどの感染症対策を取りながら、けやきカフェを運営した。

また、来店客数減少による売上減を補うため簡易容器によるテイクアウトを開始した。

ア 営業日

月曜日から金曜日まで

イ 営業時間

午前11時 30 分から午後2時30分まで

ウ 売上等

年度	営業日数	売上	一日平均売上
R2	149	1,306,008 円	8,765 円
R元	221 ※3月 は休業	3,037,610円	13,745円

※けやき体育館休館に伴い、4月1日～6月18日、1月13日～3月8日まで休業。

3月9日～19日の間はテイクアウトのみ営業。

エ 障害者就労体験実習の受入れ

年度	日数	人数
R2	17	4
R元	73	16

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、前年度に比べ大幅な減となった。

(7)新型コロナウイルス感染症対策による施設修繕の実施

相模原市指定管理者制度導入施設コロナ対策事業補助金の交付決定を受け、1階トイレの自動水栓化、障害者用トイレの自動扉化、トイレ照明人感センサー設置などの修繕を行った。

## 9 けやき体育館

### (2)障害者余暇活動支援事業

#### 1 事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛を余儀なくされている中、障害者がスポーツや余暇活動により、日常生活をより楽しんで充実できるよう「おうち時間」で出来る余暇活動(おりづる☆プロジェクト、けやきクエスト等)の提供を行った。

また、障害者スポーツ講座およびパラスポーツ大会の実施に向け、「けやき体育館主催 障害者余暇活動支援事業(各種講座・イベント等)の再開に係る実施要項」を策定し、感染症対策用器具の購入等、必要物品の整備を行った。

#### 2 事業内容

##### (1)スポーツ講座の実施

スポーツ講座中止の代替えとして、講座講師の協力を得て、体操動画を作成した。講師のYouTubeで動画を掲載し、けやき体育館のTwitterにリンクを貼り、紹介した。

1月より対面での講座を行う予定で参加者を募集したが、緊急事態宣言の発令により中止とした。

##### (2)おりづる☆プロジェクトの実施

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、外出自粛を余儀なくされている状況において、障害のある方が先の見えない不安を和らげられるよう、室内でも楽しめる活動支援として「みんなで作ろう！おりづる☆プロジェクト」を実施した。実施に当たっては、障害の有無にかかわらず、一つの作品を共に作り上げることで「共にささえあい生きる社会」への意識付けに繋げる機会とした。また、プロジェクトに関わった方に、けやき体育館を知ってもらおう良い機会となった。

項目	実施期間	内容	参加者
折り鶴制作	5月15日～6月30日	個々に折り鶴を制作し、郵送等で集め、約20万羽の折り鶴が集まった。	延べ645組
壁画制作準備	7月29日～8月21日	ボランティアの協力のもと、パーツ制作セットの準備、ロビーの装飾等を実施。	延べ49人
パーツ制作	8月1日～31日	自宅や事業所等など各自で、丸型またはハート型の台紙に折り鶴を自由に貼り、壁画のパーツを作成。	延べ95組
パーツ制作 レクチャー	8月7日～10日	製作方法がわからない方などを対象に、少人数で制作(レクチャー)を行った。	延べ21人
壁画制作	8月22日～9月11日	それぞれの場所で制作したパーツをパネルに貼り合わせ、大きな壁画を制作した。	延べ87人
壁画完成	9月12日	感染症拡大防止対策により、当初予定していたお披露目会は中止とした。	—

##### (3)けやきクエストの実施

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、講座等の事業を中止している状況の中、それぞれが地域で取り組めるよう「散歩」をメインとしたウォーキング企画「けやきクエスト」を実施した。

項目	実施期間	内容
レベル1	10月1日～3月31日	クエストシートに記載された20項目のものを探す。
レベル2	11月1日～3月31日	シートに記載された5項目、しりとりで5項目のものを探す。 ラジオ体操を5日間する。 パラリンピッククイズ(ポッチャボールの重さ)
レベル3	12月1日～3月31日	シートに記載された5項目のものを探す。 免疫力アップエクササイズを5日間する。 パラリンピッククイズ(シンボルカラー3色) おさんぽ川柳

#### (4)「おねがい！けやきの木」の実施

緊急事態宣言の発令に伴う休館中、それぞれの場所で活動できる余暇活動の提供として、「おねがい！けやきの木」(短冊に願いや目標などを書く他、折り紙等で装飾したオリジナルの短冊を制作し、けやき体育館の折り鶴で制作した木に取り付ける。)を実施した。

#### (5)おうち時間の余暇紹介

「職員がやってみた」をテーマに、おうち時間で出来る余暇を職員が実践し、チラシや動画で編集したものを、Twitter等で紹介した。

#### (6)けやき体育館で活動する障害者団体の紹介

障害者週間に合わせ、けやき体育館でスポーツ・文化活動をする障害者団体の動画を撮影し、Twitterで紹介した。(14団体)

#### (7)自主サークル活動支援

育成講座等を通じて結成されたサークルに対し、コーディネート、自主化等の支援を実施した。

対象サークル	実施回数	延べ参加者数	
		障害者	ボランティア
手芸サークル あむあむ	5	7	5
ボウリングサークル ターキーズ	6	18	7
料理サークル MANGER	6	14	10
バスケットサークル 松が丘 BULLS	22	246	42
サッカーサークル FC 松が丘	11	93	29
合計	50	378	93

#### (8)ボランティア確保に向けての動き

新型コロナウイルス感染症の影響により、登録ボランティアを対象に情報交換や相互の交流を目的とするボランティア交流会は中止とした。けやき体育館通信による情報発信など、障害者の余暇活動を支えるためのボランティア確保に努めた。

##### ア ボランティア登録者数(3月末現在)

年度	登録ボランティア者数
R2	32 (うち新規登録者数 1名)
R元	31 (うち新規登録者数 9名)

#### (9)パラスポーツ普及啓発事業の実施

東京2020パラリンピック競技大会正式種目であるボッチャ競技の大会の開催を予定していたが、緊急事態宣言の発令により延期(令和3年10月以降の開催)とした。

#### (10)情報収集

けやき体育館個人登録者に対し、コロナ禍における余暇活動に関するニーズ調査を実施した。

期間	配布数	回収数	回収率
2月1日～28日	207	69	33.3%

#### (11)情報提供

「けやき体育館通信」並びに事業団ホームページを活用し、障害者スポーツやレクリエーション等の情報提供を行うとともに、サークル活動・障害者団体等の活動情報提供を行った。

また、Twitter(アカウント名:けやき体育館)を利用し、即時性のある情報等の周知に活用した。

# 令和2年度 福祉研修センター 研修一覧表

【障害福祉サービス事業所等職員対象】

区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数	昨年度の参加者数	
		所属等	氏名					
障害福祉基礎研修	基礎Ⅰ	B1 障害福祉制度の基礎	桜美林大学	谷内 孝行氏	基礎 8月24日(月)10:00～8月25日(火)16:00	動画配信	100	33
		B2 障害者平等研修(DET研修)			基礎 3月中止			10
		B3 障害児の理解	鶴見大学	河合 高鋭氏	基礎 8月27日(木)10:00～8月28日(金)16:00	動画配信	93	42
		B4 障害者の理解	相模原市発達障害支援センター	小林 太郎氏	基礎 10月13日(火)14:00～15:30	オンライン	19	46
		B5 虐待防止・権利擁護研修④	相模原市	虐待防止担当	基礎 12月18日(金)13:30～16:00	オンライン	21	
		B6 対人援助の基礎を学ぶ			基礎 3月中止			42
		B7 相模原市の障害福祉制度	相模原市	南高齢・障害者福祉課担	基礎 1月22日(金)14:00～15:30	オンライン	18	35
		B9 最新の障害福祉の動向	全国手をつなぐ育成会	又村 あおい氏	基礎 1月9日(土) 10:00～12:00	オンライン	23	51
		基礎Ⅱ	C1 記録の方法	和泉短期大学	中野 陽子氏	基礎 12月22日(火)14:00～16:00	オンライン	15
	C2 アセスメントの視点を学ぶ		相談室みらい	宮崎 勤氏	基礎 1月30日(土)10:00～12:00	オンライン	12	
	C3 ストレngths・エンパワメントを知る		相模原市社会福祉事業団	生活相談課職員	基礎 11月13日(金)14:00～16:00	オンライン	9	18
	C4 グループワークの方法		みやぎ心のケアセンター	片柳 光昭氏	基礎 2月28日(日)13:00～17:00	オンライン	8	
	C5 継続的な連携方法を学ぶ		田園調布学園大学	村井 祐一氏	基礎 2月12日(金)13:30～15:30	オンライン	20	
C6 虐待防止・権利擁護研修①～③	全国手をつなぐ育成会		又村 あおい氏	基礎 9月23日(水)12:00～9月28日(火)12:00	動画配信	163	335	
	アンガーマネジメントジャパン	湯本 真之氏	基礎 10月16日(金)10:00～12:00 10月16日(金)18:00～20:00 10月17日(土)10:00～12:00 10月20日(火)10:00～12:00 10月21日(水)9:00～11:00 12月9日(水)9:00～11:00	オンライン				
	県央福祉会	海老澤 祐次氏	基礎 11月18日(水)～11月24日(火)12:00～12:00	動画配信				
支援技術向上研修(共通)	E1 障害福祉の実践発表会			応用 中止			50	
	E2 官民協働研修	相模原市自立支援協議会	人材育成部会員等	応用 3月12日(金)15:30～17:30	オンライン	23		
支援技術向上研修(相談)	F1 意思決定支援の視点でケアマネジメントを考えてみよう	カピーナ貴志園	小川 陽氏	応用 2月27日(土)14:00～16:00	オンライン	6		
	F2 支援に役立つ面接技術	みやぎ心のケアセンター	片柳 光昭氏	応用 11月7日(土)13:00～17:00	オンライン	10		
	F3 ケース会議の方法	秦野市地域生活支援センターぱれっと	小池 憲一氏	応用 10月30日(金)14:00～16:00	オンライン	20		
	F4 意思決定支援を考える	和泉短期大学	鈴木 敏彦氏	応用 2月22日(月)14:00～16:00	オンライン	9		
	F5 サービス等利用計画の記入方法	らっく相談支援事業所	渡邊 史朗氏	応用 11月24日(火)15:00～17:00	オンライン	15	35	
	F6 モニタリングの方法	相談室みらい	宮崎 勤氏	応用 2月20日(土)10:00～12:00	オンライン	22	22	
支援技術向上研修(余暇活動支援)	H1 障害者のためのレクリエーション支援研修			応用 中止				
支援技術向上研修(介護)	J1 介護技術の実践			応用 中止			97	
	J2 摂食技術			応用 中止			170	
	J3 利用者のこころの理解			応用 中止			56	
特別研修	K1 不審者対策			全職員 中止			35	
	K2 新型コロナウイルス対策(防災)	相模原市疾病対策課	吉田 稜氏	全職員 2月18日(木)14:00～15:00	動画配信	19		
	K3 障害者虐待防止・権利擁護研修(管理者向け)	のぞみ園	日誌 正文氏	管理者 1月13日(水)～1月19日(火)	動画配信	13		

※ 研修対象者の目安(基礎:主に職務経験1年目から3年目の新任職員を対象、応用:主に職務経験4年以上の職員を対象)

638

【障害当事者、家族等向け】

区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数	昨年度の参加者数
		所属等	氏名				
障害当事者等向け研修	L1 コミュニケーションを学ぼう(入門)	相模原市社会福祉事業団	生活相談課職員	9月24日(木)13:30～15:00	事業所訪問	4	31
		相模原市社会福祉事業団	生活相談課職員	10月14日(水)14:00～16:00	事業所訪問	3	
	L2 楽しく学ぶスマートフォン講座	相模原市社会福祉事業団	生活相談課職員 地域支援課職員 福祉サービス課職員	2月2日(火)14:30～16:00 2月11日(木)～2月18日(木) 2月19日(金)、3月11日(木)13:00～16:00	オンライン 通信講座 対面	40	23
		L3 「動く」から「働き続ける」ために!			中止		83
	L4 当事者ミーティング「話してみよう」	相模原市社会福祉事業団	生活相談課職員	10月16日(日)10:30～11:30	オンライン	2	3
	L6 人とうまくつきあう方法	相模原市社会福祉事業団	生活相談課職員 地域支援課職員 福祉サービス課職員	2月28日(日)10:00～11:30 3月3日(水)～3月10日(水) 2月19日(金)、3月22日(月)13:00～16:00	オンライン 通信講座 対面	38	
	L6 中途失聴者・難聴者のためのコミュニケーション教室			中止			35
家族等向け研修	L6 家族支援講座 ～障害福祉制度を学ぶ～	相模原市社会福祉事業団 すずらん会 県央福祉会	生活相談課職員 矢嶋 正貴氏 西村 三郎氏	2月19日(金)10:00～12:00	オンライン	9	
障害者虐待防止・権利擁護研修(障害者向け)研修	L6 ストレスとうまくつきあう方法	さがみはらカウンセリングルーム	佐々木 良枝氏	2月16日(火)13:30～15:30	オンライン	6	

102

【市民等向け】

区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数	昨年度の参加者数
		所属等	氏名				
市民等向け講座	M1 障害平等研修[再掲]			中止			12
	M2 聴覚障害の基礎知識			中止			

【法定研修】

区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数	昨年度の参加者数
		所属等	氏名				
強度行動障害支援者養成研修	N1 強度行動障害支援者養成研修	横浜やまびこの里ほか	志賀利一ほか延べ14名	12/14(月)～12/15(火)	対面	27	

27

【研修受講のための研修】

区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数	昨年度の参加者数
		所属等	氏名				
オンライン研修操作研修	O1 オンライン研修操作研修	相模原市社会福祉事業団	地域支援課職員	10/29(金)、11/10(火)、2/9(金)、2/14(日)		15	

15

総計

762名